

薄膜・表面物理研究のトレンドと今後の展望 ～薄膜・表面物理分科会 50周年記念シンポジウム～

Thin film / surface physics research trends and future prospects
～The 50th anniversary of Thin film and surface physics division～

今年で薄膜・表面物理分科会も設立されて 50 周年を迎えました。その間に新しい表面分析手法の発明、特徴的な表面現象の解明、魅力的な特性を持つ物質の発見等、活発な研究が進められてきました。現在の薄膜・表面物理分野のトレンドを見直し、今後の研究展望を見据える事で、本研究分野の更なる振興を図ることを目的とします。

日時：2021年9月11日(土) 9:00～18:30 [予定]

会場：ハイブリッド開催(名城大学&オンライン)

招待講演(敬称略, 仮題)

田畑仁(東大)

オープニングトーク

重川秀実(筑波大)

走査プローブ顕微鏡で覗く世界は光でどこまで輝くか?

長谷川修司(東大)

量子物質が加速する表面・原子層科学の新展開

鈴木拓(NIMS)

イオンビームによる表面・界面の解析と改質

岡田健治(タワーパートナーズ セミコンダクター)

半導体デバイスを支える絶縁膜およびその界面の物理

染谷隆夫(東大)

有機薄膜デバイスの生体計測応用

知京豊裕(NIMS)

多様化する集積回路の潮流とそれを支えるインフォマテックス

高桑雄二(東北大)

放射光を用いた表面研究の50年間の歩みと今後：X線光電子分光法の展開

繁野雅次(日立ハイテク)

同一視野での表面形状・物性計測の現状と今後の展望

一杉太郎(東工大)

「自律的」材料探索の現状と展望 ～実験室に産業革命が起きている～

日比野浩樹(関西学院大)

単原子層物質の成長機構と構造制御

組頭広志(東北大)

放射光を用いた酸化物超構造の量子状態解析

宮田耕充(都立大)

二次元ヘテロ構造の成長と機能開拓

* パネルディスカッションも開催します

一般講演
数件募集

世話人：小嗣 真人(東京理大) 永村 直佳(NIMS) 渡部 平司(大阪大) 住友弘二(兵庫県大)

問合せ先：sumitomo@eng.u-hyogo.ac.jp